

京都帝國大學法學大叢

經濟論叢

第六卷 第四號

大正七年四月一日發行

論說

「座」ノ研究(再ビ)……………

農會瑣言……………

京都ニ於ケル舊時ノ摺屋仲間……………

營業稅ノ課稅標準(二卷)……………

Unto this Lastヲ讀ム(二卷)……………

職工組合論(三)……………

我國^{ニ於}ケル營利心ノ起源及發達(三)……………

時事問題

米國禁輸問題ノ解剖……………

勸業及農工銀行ノ合併ニ就テ……………

雜錄

大阪市ニ於ケル窮民ノ家計(一)……………

續獨逸經濟學界近況(二)……………

物價卜割引歩合卜ノ平行……………

米國ノ戰時海運政策(三卷)……………

米國ノ戰時租稅法(三)……………

帝國統一後ノ獨逸ノ植民的活動(上)……………

文學博士

法學博士

法學士

法學博士

法學博士

法學士

文學士

法學博士

法學博士

法學博士

法學士

文學士

文學士

法學士

法學士

在米

文學士

三浦周行

財部靜治

本庄榮治郎

神戸正雄

河上肇

河田嗣郎

銅直勇

神戸正雄

戸田海市

法學博士

法學博士

法學士

文學士

文學士

高田保馬

岸本熊太郎

阿部賢一

山本美越乃

米國ノ戰時租稅法(二)

阿部 賢一

第二 戰時租稅法

米國ガ戰時財政ヲ處理セントスル數計ニ於テハ大略以上ノ如ク公債 租稅兩法ヲ調和シテ採用セントスルモノナリ。而シテ其租稅方面ニ於テハ現行法ニヨル十三億三千三百萬弗ノ收入ニ加フルニ新 戰時中舊稅ノ增率并ニ新稅ノ設置ニヨリテ二十五億三千四百八十七萬弗ヲ收入スルノ計畫ナルコト既ニ記セルガ如シ、

余ハ戰時租稅法成立ノ經過并ヒニ事情ヲ記スルニ先ダテ成立案内容ノ大意ヲ茲ニ明ニスベシ、

一、稅目及收入

雜錄 米國ノ戰時租稅(二)

所得稅(會社、個人ヲ含ム)	六五二,000,000
戰時利得稅	一,030,000,000
酒類消費稅	一三九,000,000
(各種ノ火酒、葡萄酒其他ヲ含ム)	
糖密其他酒精ヲ含ム、マザル飲料物稅	三三,000,000
煙草稅(葉卷、紙卷、刻、鰯煙草稅)	七,200,000
(并ビニ煙草卷紙稅ヲ含ム)	
貨物運送稅	七,700,000
わきすぶれ才運送稅	一〇,000,000
導管ニヨル貨物運送稅	四,700,000
汽車、汽船内、席、床稅	四,700,000
電信、電話稅	七,000,000
保險稅	五,000,000
自働車稅	四〇,000,000
樂器、蓄音器稅等	二,000,000
活動寫眞ふるむ稅	二,000,000
寶石稅	四,000,000
遊戲器具稅	四,000,000
遊船稅	一,000,000
香水、ちつく稅	五,000,000
ちうーいんがむ稅	一,000,000
かめ稅	四〇,000
娛樂場入場稅	五〇,000,000
俱樂部稅	一,500,000
印紙稅(かるた稅、小包)	二〇,000,000
相續稅(郵便稅ヲ含ム)	五,000,000
ケあじん、のいらん、物產稅	一〇,000
第一種郵便稅	七〇,000,000
第二種郵便稅	六,000,000
軍器製造者稅	三九,000,000
合計	一三,四四七,〇〇〇

第六卷 (第四號 一三六) 五八八

二、租稅ノ内容

以上掲ゲタル諸種ノ租稅中、所得稅、相續稅、軍器製造者稅、遊戲器具稅、娛樂場入場稅ノアルモノ、煙草稅、酒稅、保險會社稅等ヲ除ク他ノ諸稅ハ新ニ設置セラレタルモノナリ、而シテ右ニ舉ゲタル諸舊稅ノ多クハ何レモ改正増率セラレタリ。今左ニ所謂「戰時租稅法」即「戰費ヲ支辨シ及其他ノ目的ノタメニ收入ヲ擧ゲンガタメノ法律」トシテ最近議會ヲ通過シ直チニ米國々土ニ於テ實施セララルモノノ内容ヲ記載スベシ、

(戰時租稅法第一條以下)

(一) 所得稅 當稅ニシテ一九一六年九月制定セラレシモノト今度新ニ制定セシモノヲ比較スルニ左ノ變化アリ、

○會社、組合、保險會社ノ純所得ニ對スル二分稅ヲ引上ゲテ六分稅トナセリ、其他ノ條項ニツキテハ何等ノ變更ナシ

○個人所得ニ關シテハ左ノ變更ヲ見ル、
免稅點ヲ引下ゲ從來ノ配偶者アルモノ四千

弗、獨身者三千弗ナリシモノヲソゾレ二千弗、一千弗トナセリ、從來ノ標準稅率二分ニ更ニ二分ヲ加ヘタリ、從來ノ附加累進稅率ニ加フルニ更ニ戰時附加累進稅率ヲ以テセリ、コレヲ表ニ示セバ左ノ如シ、配偶者アルモノヲ例ニ取レリ。

所得	標準稅率	戰時附加稅率	平時附加稅率	戰時附加稅率	合計稅率
一千元	二分	一分	一分	一分	四分
二千元	二分	一分	一分	一分	四分
三千元	二分	一分	一分	一分	四分
四千元	二分	一分	一分	一分	四分
五千元	二分	一分	一分	一分	四分
七千五百弗	二分	一分	一分	一分	四分
一萬弗	二分	一分	一分	一分	四分
一萬二千五百弗	二分	一分	一分	一分	四分
一萬五千弗	二分	一分	一分	一分	四分
二萬弗	二分	一分	一分	一分	四分
四萬弗	二分	一分	一分	一分	四分
六萬弗	二分	一分	一分	一分	四分
八萬弗	二分	一分	一分	一分	四分
十萬弗	二分	一分	一分	一分	四分
十五萬弗	二分	一分	一分	一分	四分
二十萬弗	二分	一分	一分	一分	四分
二十五萬弗	二分	一分	一分	一分	四分

雜錄 米國ノ戰時租稅法(二)

二十五萬弗 三十萬弗 同 八分 二分五分 四分五分
 三十萬弗 五十萬弗 同 九分 二分七分 五分五分
 五十萬弗 七十五萬弗 同 一割 四分 五分五分
 七十五萬弗 百萬弗 同 一割 四分五分 五分五分
 百萬弗 一百五十萬弗 同 一割五分 五分 五分五分
 一百五十萬弗 二百萬弗 同 一割五分 五分 五分五分
 二百萬弗ヲ越エル金額 同 一割五分 五分 五分五分

個人所得ニツキテハ新ニ左ノ條件付セラル、課稅年度ニ於テ宗教、慈善、科學、教育并ニ博愛事業ニ對スル寄附ハ納稅者所得ノ一割五分ニ達スル迄ハコレヲ所得ヨリ控除ス

(改正所得稅第一二〇一條)。
 一 家族内ニ於テ十八歳以下ノ子、并ニ心身ノ缺陷ニ基キ自活不能ノモノ一人ニツキニ百弗宛ヲ所得ヨリ控除ス(同第一二〇二條)

(二) 戰時利得稅(同二〇〇條以下) コハ一九一七年三月三日制定ノ超過利得稅ニ代リ、一九一七年三月三日制定ノ軍器製造者稅ノ外ニ新設セラレタルモノニシテ其課稅主體ハ會社タルト、組合タルト個人タルヲ問ハズ苟モ戰爭ノ影響トシテ生ゼシ利得ヲ課徵セントスルモノ

ナリ、而シテ當稅ハ所得稅ト獨立ノモノナルガ故ニ多クノ事業ハ兩稅ヲ同時ニ負擔スルコトニナル。

一、免稅事業 以上ノ如ク當稅ハ事業ノ性質經營者ノ如何、經營時期ノ長短、更ニ所得ノ如何ヲ問ハザルヲ旨トスト雖モ、レニ例外アリ、即チ(一)中央及地方政府ノ官吏并ビニ政府ノ使用人ノ利得。(二)所得稅法第十一條ニ規定スル免稅ノ特點アルモノ(勞働組織、農業組合、相互扶助組織、相互金融組織、墓地組合、利益ヲ目的トセザル宗教其他公共組織、利益ヲ目的トセザル商業者團體商業會議所ノ如キ、利益ヲ目的トセザル市民ノ團體、娛樂所等)。(三)生命健康及損害、保險ノ三要素ヲ含有スル保險ニシテ其保險料ハ每週支拂ハルルガ如キ保險事業ノ利益、是等ハ戰時利得稅ヨリ免ゼラルルモノナリ。(同二〇一條)

二、控除額 外國會社、組合、在外々國人ノ利得三千弗ニ達セザルモノハ免ズ。(同二〇二條) 內國會社ハ三千弗、內國組合、個人事

業ハ六千弗ヲ控除ス(同二〇三條) 內國會社、組合、個人事業ハ歐洲戰前ニ於テ投資額ニ對シテ擧ゲタルト同率ノ割合ヲ課稅年度(一九一七年一月一日ヨリ曆年一ケ年)ノ利得ヨリ控除スルコトヲ許ス、但シ免稅率ハ七分乃至九分ニシテ戰前ノ利益ガ投資額ニ對シ七分以下ノモノニモ七分ノ控除ヲ許シ戰前利益如何ニ大ナリトモ控除額ニ於テハ九分ヲ越ユルコトヲ許サザルナリ。外國會社、組合、個人事業ニモ同様ノ控除條件アリ(同二〇三條)

三、戰前利益ノ意義 戰前トハ歐洲大戰開始前ノ三ケ年ヲ云フナリ、即チ一九一一年、一九一二年、一九一三年ノ三ケ年ニシテ其平均純利益ヲ標準トシ、コレヲ越ユル課稅年度ノ利得ヲ賦課セントスルナリ。

事業ニシテ以上ノ三ケ年ニ缺クルモノハ其存在期間ノ利得ヲ以テ標準トス(同二〇〇條)

四、投資額ノ意義 課稅年度ノ利得ヨリ控除セラルベキ戰前ノ投資額ニ對スル純利得ノ率ヲ知ラント欲セバ先ヅ其基礎トナルベキ投資

額ノ意味ヲ明ニセザルベカラズ、コノ問題ニ關シテハ議會ニ於テ又上下兩院委員協議會ニ於テ論難ヲ極メシモノノ一ニシテ遂ニ左ノ如ク決定セリ、

(一) 拂込ミシ正金、(二) 株式持分トシテ拂込ミシ有形貨物ノ拂込當時ニ於ケル實價、(三) 剩餘利得并ニ配當セラレザリシ利得ニシテ事業經營上ニ使用セラレシモノノ金額、(四) 及ビ無形財即チ得意、商標等及ビ專賣特許ノ如キ特權ニシテ貨幣又ハ其代用品ヲ以テ買入レンモノノ購買價格等之等ノ總計ヲ以テ投資額ト看做セリ、而シテコノ投資額ノ意義ハ會社タルト組合タルト個人事業タルニ於テ相違ナシ(同二〇七條)

五、資本ナクシテ收入スル利得。戰時收入法二〇九條ニ規定スルところヲ見ルニ曰ク「投資セズ又名目ニ過ギザル資本ヲ以テ經營スル事業ノ利得ハ現行法并ニ當戰時收入法ノ適用(所得税ノ意)ヲ受クルノミナラズ更ニ純利得ノ八分ヲ徴セラル」投資事業ニ對スル戰時利

得税々率ノ代リニ)但シ其利得ガ會社ニ於テ三千弗、組合并ニ個人ニ於テ六千弗ヲ越ヘザルトキハ免ゼラルト、

當箇條ハ一般社會ノ豫期セザリシモノニシテ其一旦發表セララルルヤ最モ非難ヲ被リシモノナリキ。此事ニ關シテハ後ニ述ブベシ。

六、純所得ノ決定(同二〇六條) 純利得ノ決定ニツキテハ新法ニ於テ新ニ規定セズ、從來存在セシ法規ヲ援用スルコトトナセリ、即チ會社ニアリテハ一九一一年、一九一二年ノ兩年ノ純利得ハ一九〇九年八月五日制定ノ會社國產稅第三十八條ヲ一九一三年度ノ純利得ハ一九一三年十月三日制定ノ所得稅法ヲ適用シテコレヲ算出シ更ニ今年後ノ課稅年度ノ純利得ハ一九一六年九月八日制定ノ所得稅法第五條ヲ援用シテコレヲ決定スト規定セリ、而シテ組合及個人ノ純所得ハ一九一六年九月八日制定ノ所得稅法ノ規定スルところヲ援用シテコレヲ決定ス。因ニ會社、組合、個人ガ一九一六年九月八日所得稅法ノ下ニ納稅義務アル内

國會社ノ株ヲ有スルトキコレヨリ生ズル配當金ハコレヲ純利得ヨリ控除セラル。

七、稅率(同二〇一條)

- 二割稅、以上舉ゲタル諸種ノ條件ヲ參酌シテ得タル純利得ノ割合ガ投資額ニ對シテ一割五分ヲ越ヘザルトキ
- 二割五分稅、純利得ノ割合ガ投資額ニ對シテ一割五分ヲ越ユルモ二割ヲ越ヘザルトキ
- 三割五分稅、純利得ノ割合ガ投資額ニ對シテ二割ヲ越ユルモ二割五分ヲ越ヘザルトキ
- 四割五分稅、純利得ノ割合ガ投資額ニ對シテ二割五分ヲ越ユルモ三割三分ヲ越ヘザルトキ
- 六割稅、純利得ノ割合ガ投資額ノ三割三分ヲ越ユルトキ純所得ニ當稅率ヲ適用ス

八、因ニ當法ノ制定ト共ニ一九一七年三月一日制定ノ超過利得稅ハ廢止セラレ、又一九一六年九月八日制定ノ軍器製造者稅ハ一九一八年一月一日ヨリ廢止セララルトナレリ、而シテ後者ノ稅率ハ今年度ニ於テハ低メラレ一割二分五厘ノモノ一割トセラル。

(三) 飲料物消費稅 (同三〇〇條以下増稅ト新稅共ニコレヲ用フ)

現行法	戰時消費稅	合 計
(一がろんニ付)	(同)	
一、蒸溜酒、飲料ノ目的	1/10	1/10
		3/10

飲料以外ノ 1/10 1/10 2/10

二、精溜酒、蒸溜酒稅ニ加フルニ一がろんニツキ、一五十(五仙)ヲ増ス。 1/10 1/10 3/10

三、麥酒、ビール等 1/10 1/10 2/10

四、葡萄酒 (含有アル酒類ノ度ニヨリ其稅ヲ異ニス) 酒精一割四分ヲ越ヘザルモノ 1/10 1/10 2/10
酒精一割四分以下 1/10 1/10 2/10
酒精二割一分以上 2/10 2/10 4/10
酒精二割四分以下 2/10 2/10 4/10

酒精二割四分ヲ越ユルモノハ蒸溜酒稅ヲ適用ス

五、葡萄酒(ぶらんで) 1/10 1/10 2/10

六、糖蜜類 他ノ飲料物製造ノ爲ニ蜜却セラルルモノトキ生産者輸入者等ヨリ支拂ハル而シテ其賣却價格ニヨリテ稅ニ差アリ

一がろんニツキ一弗三十仙以下ノトキ 1/10 1/10 2/10
一弗三十仙以上二弗以下ノトキ 2/10 2/10 4/10
二弗以上三弗以下ノトキ 3/10 3/10 6/10
三弗以上四弗以下ノトキ 4/10 4/10 8/10
四弗以上ノトキ 5/10 5/10 10/10

七、ソーダ、礦泉水等 同 同 同

因ニ當諸稅ハ十月四日ヨリ實施セラル(當案制)

(四) 定ノ釐目
煙草稅(同四〇〇條以下)

種 目	現行法(一千本)	戰時消	合 計
葉卷煙草			
其重量一千本ニツキ三匁	1.00	1.00	2.00
うんごち越ヘザルモノ	1.00	1.00	2.00
其重量一千本ニツキ三匁	1.00	1.00	2.00
うんごち越ニルモノ	1.00	1.00	2.00
一本ノ小賣價格四仙以下ノモノ	1.00	1.00	2.00
上七仙以下ノモノ	1.00	1.00	2.00
同七仙以上、十五仙以下ノモノ	1.00	1.00	2.00
同十五仙以上、二十仙以下ノモノ	1.00	1.00	2.00
同二十仙以上ノモノ	1.00	1.00	2.00
紙卷煙草			
其重量一千本ニツキ三匁	1.00	1.00	2.00
うんごち越ヘザルモノ	1.00	1.00	2.00
其重量一千本ニツキ三匁	1.00	1.00	2.00
うんごち越ニルモノ	1.00	1.00	2.00
製煙草及其他ノ煙草	1.00	1.00	2.00
一ぱんげニツキ	1.00	1.00	2.00

因ニ煙草稅ハ一九一七年十一月二日ヨリ戰時稅ヲ附加セララルモノナルガ當法制定ノ日(九月三日)ヨリ實施ノ日(十一月二日)ニ至ル三十日間ニ於テハ以上各種ノ煙草ハ現行法中ノ租稅ト戰時稅ノ半額ノ租稅ヲ課セラル、

雜錄 米國ノ戰時租稅法(二)

(五) 甲 公益事業使用稅(同五〇〇條以下)

- 貨物運送稅 料金ノ三分
- 便びきすぶれすニヨル貨物運送稅 料金二十仙毎ニ一仙
- 乗客運送稅 料金ノ八分
- かなだ、めきしニ向フモノヲ含ム、
(但シ回数券、三十哩以下ノ季節切符)
(及料金三十五仙以下ノ料金ハ免稅ス)
導管運送稅(石油等) 料金ノ五分
- 汽車汽船内、席、寢床并ニ寢室稅 料金ノ一割
- 電信、電話、無線電信稅 料金十五仙以上ノモノニ對シテ一回ニ五仙

乙 保險物(同五〇四條以下)

- 生命保險稅 保險金百弗及其端數毎ニ八仙
- 但シ再保險并ニ保險金五百弗以下ノモノニシテ保險料毎週拂ノモノハコレヲ除外ス、後者ニアリテハ第一回目ニ支拂ノ保險料ノ四割ヲ一回納稅セシム、
- 海上保險、内國保險、火災保險稅(再保險ヲ除キ) 保險料一弗及端數毎ニ一仙
- 災害保險(前記諸保險及再保險ヲ除キ) 保險料一弗及端數毎ニ一仙

(六) 因ニ以上列記ノ諸稅ハ一九一七年十一月二日ヨリ實施ス、

- 各種ノ使用及消費稅
- 自働車稅 價格ノ三分
- 樂器稅 價格ノ三分

第六卷 (第四號 一四二) 五九三

活動寫眞ノふゐるむ税

一呎ニツキ一仙ノ四分ノ一

(末感光ノモノ)

同ノふゐるむ税

一呎ニツキ一仙ノ二分ノ一

(射映繪等チ有スルモノ)

寶石税

價格ノ三分

遊戲器具

價格ノ三分

(ちげつこヨリ將棋ニ至ル種々ノモノヲ含ム)

化粧品税

價格ノ二分

賣藥税

價格ノ二分

ちゆいんがむ税

價格ノ二分

寫眞用かめら税

價格ノ三分

遊船税(やつこ其他)

船體ノ長サ五十呎以下ナルトキ一呎ニツキ五十仙

同 五十呎以上ナルトキ一呎ニツキ一弗

同 百呎以上ナルトキ一呎ニツキ二弗

同 百呎以上ナルトキ一呎ニツキ二弗

(七)

娛樂場入場税(同七〇〇條以下) 娛樂場ニ入ラ

ントスル者ニハ入場料最高五仙ノ娛樂場ヲ除

キ每十仙并ニ端數ニツキ一仙ノ税ヲ課ス。但

シ十二歳以下ノ小兒ニ對シテハ如何ナル場合

ニ於テモ一仙以上ヲ課セズ。入場料ヲ要セザ

ル酒席又ハ類似ノモノニアリテハ勸定書每十

仙ニツキ一仙ノ税ヲ課ス。又娛樂場ニ於ケル

永久借切ノ席ハ其借席料ノ一割ヲ課ス。

以上ノ規定ノ外ニ諸種ノ例外アリ、例ヘバ慈

(八)

善舉行、宗教上教育上ノ目的ニスル會場ノ如シ。當法ハ十一月一日ヨリ實施スル

俱樂部會員税 各種ノ俱樂部ニ加入シ其會費一年十二弗以上ナルトキ一割税ヲ課ス、

印紙税(同八〇〇條以下)

一九一七年十二月一日以後發行ノ借用證書ハ額面金額百弗

并ニ端數ニツキ五仙、

擔保物保證券ハ 各々五十仙、

會社株式發行税 百弗并端數ニツキ五仙、

株式讓渡税 百弗并端數ニツキ二仙、

取引税(直接貨幣ヲ以テ賣、賣價百弗并ニ端數ニツキ二仙

手形(一體拂) 百弗并ニ端數ニツキ二仙、

小切手税(ナ除ク)

百弗以上五百弗ノモノニハ五十仙、

五百弗以上五百弗并ニ端數ニツキ五十

仙、

保稅倉庫登簿税 百弗以下ノモノニハ二十五仙、

百弗以上五百弗以下ノモノニハ五十仙

五百弗以上ノモノニハ一弗、

五十仙、

保稅倉庫引出税

出發地ハ米國ニシテ到達地點カ米國、加奈陀

通行税(ゆきし、ニアラザルトキ)旅客船買税

船旅費三十弗以上ノモノニハ一弗、

三十弗以上六十弗以下ノモノニハ三弗

六十弗以上ノモノニハ五弗、

(因二十弗以下ノ船買ニハ免稅)

委任狀税(宗教慈善教育博愛文藝墓地ヲ目ノトスル會社組

合ヲ除ク他ノ會社)組合ノ役員選舉業務會議ニ

對スル 委任狀 十仙

委任狀稅 (一般ノモノ但シ政府ニ對スル年金ノ) 二十五仙
 (炭金ノ要求并破産申告ノ場合ヲ除ク)

骨牌稅 (以下ノモノ) 一包五十四枚 五仙

小包郵便稅 二十五仙并ニ端數ニツキ一仙、

當稅ハ本年十二月一日ヨリ實施セラルル但シ骨

牌稅ハ十月三日ヨリ施行ス、

(九) 相續稅 (同九〇〇條以下) 當稅ハ一九一六年九月八日制定セラレ一九一七年三月三日修正セラレタル規定ヲ保存シ只コレニ戰時附加稅ヲ

添加セリ、而シテ當法ハ一九一七年十月三日以後ノ死亡ニ原因スル相續ニ賦課スルモノナルガ一ノ例外ヲ設ケ米獨戰爭中ニ死亡シタル

軍人軍屬并ビ戰後一ケ年間ニ於テ戰爭ニ起因スル死亡ノタメニ生ゼル相續ニハ年度制定ノ

附加稅ヲ適用セズ、

金額	現行法%	附加稅%	合計%
二萬五千弗以上	0.015	0.005	0.020
五萬弗ヲ越ヘザル額	0.010	0.005	0.015
五萬弗以上	0.010	0.010	0.020
十五萬弗ヲ越ヘザル額	0.010	0.010	0.020
十五萬弗以上	0.015	0.015	0.030
二十五萬弗ヲ越ヘザル額	0.015	0.015	0.030

雜錄 米國ノ戰時租稅法(二)

(十)

二十五萬弗以上	0.020	0.010	0.030
四十五萬弗ヲ越ヘザル額	0.015	0.015	0.030
四十五萬弗以上	0.015	0.015	0.030
百萬弗ヲ越ヘザル額	0.020	0.010	0.030
百萬弗以上	0.020	0.010	0.030
二百萬弗ヲ越ヘザル額	0.020	0.010	0.030
二百萬弗以上	0.020	0.010	0.030
三百萬弗ヲ越ヘザル額	0.020	0.010	0.030
三百萬弗以上	0.020	0.010	0.030
四百萬弗ヲ越ヘザル額	0.020	0.010	0.030
四百萬弗以上	0.020	0.010	0.030
五百萬弗ヲ越ヘザル額	0.020	0.010	0.030
五百萬弗以上	0.020	0.010	0.030
八百萬弗ヲ越ヘザル額	0.020	0.010	0.030
八百萬弗以上	0.020	0.010	0.030
一千萬弗ヲ越ヘザル額	0.020	0.010	0.030
一千萬弗以上	0.020	0.010	0.030

郵便物稅 (同二〇〇條以下)

第一種郵便物、封書ハ從來一をんニツキ二仙ナリシモノヲ三仙トナシ端書ハ從來一仙ナリシモノヲ二仙ニ上ゲタリ、

因ニ戰爭中外國ニ勤務セル軍人ノ書信ハ無賃トス、

第二種郵便物、(新聞、雜誌其他定期刊行物ヲ含ム)

甲、郵便物ノ内容カ廣告ナラザルモノ(換言セバ廣告カ紙面全部ノ五分ヲ占メザルモノヲ云フナリ)

一九一九年七月一日ヨリ 一(ばん)ご及端數ニツキ

一仙二厘五毛(從來一仙)

一九一九年七月一日ヨリ 同 一仙五厘トス、以後ハ

第六卷 (第四號 一四三) 五九五

雜錄 帝國統一後ノ獨逸ノ植民地的活動(上)

乙、郵便物ノ内容ガ其五分以上廣告ニヨリテ占メラルルモノニ對シテハ區域制度ヲ適用セリ、即チ第四種郵便物(小包類)ニ對シ米國々土ヲ八區分シ距離ノ遠近

第六卷 (第四號一四四) 五九六

ト物ノ重量ニヨリ賃料ヲ異ニスル規定アリ、コノ八區劃法ヲ茲ニ適用セントスルナリ、而シテ其計畫ハ一九二二年以後ニ迄及ベリ、即チ一パウンドニツキ

年	代	區域	第一區	第二區	第三區	第四區	第五區	第六區	第七區	第八區
乃一九一八年七月一日	內	五十哩以	乃五百哩	乃五百哩	乃三百哩	乃三百哩	乃六百哩	乃千哩	乃千哩	千八百哩以上
至一九一九年七月一日			五毛	同	至三百哩	至六百哩	至千哩	至千哩	至千哩	以上
乃一九一九年七月一日			一仙二厘	同	二仙五厘	二仙	二仙二厘	二仙五厘	三仙	三仙二厘
至一九二〇年七月一日			一仙五厘	同	二仙	三仙	三仙五厘	四仙	五仙	五仙五厘
乃一九二〇年七月一日			一仙四分	同	二仙五厘	四仙	四仙四分	五仙	七仙	七仙四分
至一九二一年七月一日			一仙四分	同	二仙五厘	四仙	四仙四分	五仙	七仙	七仙四分
乃一九二一年七月一日			一仙四分	同	二仙五厘	四仙	四仙四分	五仙	七仙	七仙四分
至一九二二年七月一日以後			二仙	同	三仙	五仙	六仙	七仙	九仙	十仙

因ニ第一種郵便物ハ十一月二日ヨリ實施セラ
ル。又以上ノ規定ニ二三ノ例外アリ例ヘバ毎日
配達局ニ依托スル日刊新聞ノ運賃ハ從前ノ通
リ。出版業者、販賣業以外ノ者ノ發送スル新聞運
賃ハ從前ノ通り又宗教、教育、科學、慈善、農
業、勞働組織ノ發送ノタメニ發刊スル新聞、雜
誌ハ(配達局ニ委託セザル時ハ)一九一八年七月
一日以後一ぱうんどニツキ一仙八分ノ一、而シ
テ一九一九年七月一日以後一仙二厘五毛トナス
ガ如シ、

(因ニ印紙稅中ニ於テ小包郵便規定サレタリ、
二十五仙并ニ端數ニツキ一仙)